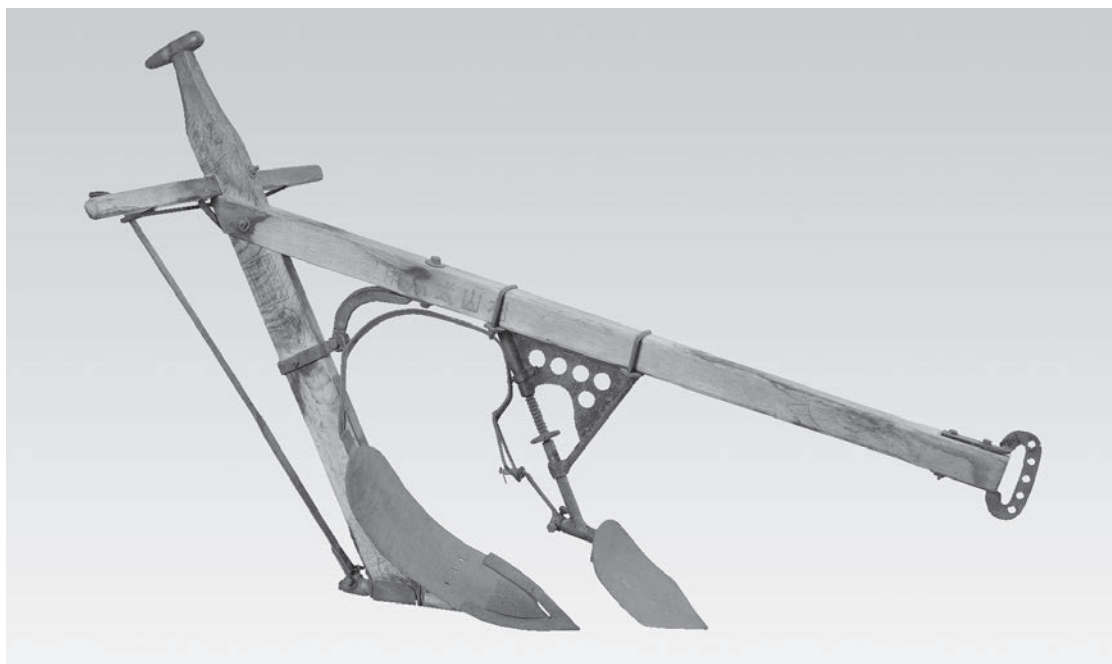


館 報

まつやま

第18号

題字 松山篤書  
平成21年9月24日発行



松山式双用二段耕犁

1. 松山式双用二段耕犁…………… 表紙
2. 長野県上伊那農業高等学校より寄贈された犁資料の考察… 2～5
3. 二段耕犁…………… 6・7
4. 報告事項…………… 8

財団法人

松山記念館

# 長野県上伊那農業高等学校より 寄贈された犁資料の考察

平成二〇年の八月に長野県上伊那農業高等学校より二二点の農業機械・機具類が寄贈されました。修学内容の変更等により保管していた農機具資料を廃棄処分することになったことから、(財)松山記念館へ移管となったものです。

寄贈していただいた資料は、人力犁、畜力犁一〇点、耕うん機用双用犁四点、碎土機、田植機(カンリウ製、荷車(明治時代の搬送用)、稲刈結束機(エンジン搭載型・エンジン不搭載型)、スクリュウ式ロータリ(古川製)のロータリ部、松山ニッポンプラウ(MTR一五二)で、人力・畜力・

動力犁はもとより、いずれも農業機械開発史において重要な役割をはたしてきた農機具です。

本稿では寄贈された資料のうち、人力犁・畜力犁について紹介し、伊那地方での畜力

耕普及についても考察を試みたいと思います。このうち、

人力犁は長野県吉田高等学校(旧 上水内農学校)から譲

り受けたもの、畜力犁のうち

双用一段耕犁の上田犁一点・

磯野式一点・ダイヤ犁と双用

二段耕犁の東洋社製日の本号

は、昭和五二―五三年に上伊

那農業高等学校同窓生から資

料として寄贈されたものとい

うことです。

本稿では、犁の部位・作用

を説明するにあたって、犁を

操縦して進行する時に土塊が

操縦者の左側に反転すること

## 【人力犁】

### ①源五兵衛犁

「両開手引鋏」と犁轅に墨

書されていて「府中 駅前

三好製」「上水内農学校」の

焼き印が犁柱にあります。上

水内農学校(現 長野県吉田

高等学校)は、明治四一年四

月に上水内郡組合立東部農学

校(乙種)として設立され、

大正一二年三月から甲種に昇

格し上水内農学校と改称して

います。上水内農学校の備品

であることを表す「上水内農

学校」焼き印があることから、

大正一二年以降の導入とも考

えることができますが、源五

兵衛犁は関東においては畜力

犁とよばれたようです。文政

五(一八二二)年に大蔵永常

が著した『農具便利論』には、

「大坂近辺または京辺で、も

っぱら用いられる。菜蔬・麦

などを作るのに、犁・馬鋏を

曳かせる牛馬もないところで

は便利に使用することができ

る。牛馬があつて犁を使用す

るところでも、麦の土寄せに

はこの源五兵衛犁が好ましい」

と書かれています。

この犁は両手で把手を持ち、

後退しながら人力で引くもの

です。作条に使われたり、麦

の根際に土を寄せるのに用い

## 【畜力 無床犁】

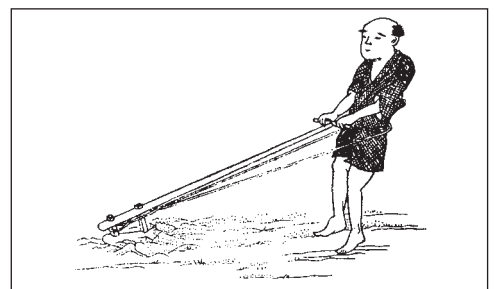
### ②③コガラ

②は犁身と犁床が一本で作

り出されています。③の犁は



①源五兵衛犁



源五兵衛犁 『農具便利論』より

犁身の先に二・五cm幅のホズを二つ作り、犁床に差し込んでいます。②③ともに犁床先端を舌状に拵え、鑄鉄製犁先をはめ込んでいるだけで、犁へらはありません。

大分県大野町民俗資料館や広島県呉観光植物園で所蔵する、犁床が不明確で犁床と犁身が一体化している犁と形態が酷似しています。この形態の犁が多く使われていた九州の阿蘇山麓の畑作地帯(大分・宮崎・熊本県)ではコガラとよばれてきました。無床犁の



②コガラーイ



③コガラーロ



③拡大図

分化したものととして形態区分されていて、犁へらがなく土れきを左右に反転することができるので両用犁と位置づけられています。

れも犁先は先端の左側が摩耗し、犁床の安定する角度からすると左反転を主として使われていたことが伺われます。どちらともハヅナは

②コガラーイ 犁轅長一五七cm 犁体高九三cm 犁床(犁先を含む)四五cm 犁先巾一二cm

引木を縄・紐で縛る仕掛けが拵えられています。二つの犁は、大きさは異なりませんが、木製の部材と犁型は酷似しています。製作した人が同一であることが推し量れます。

③コガラーロ 犁轅長一五九cm 犁体高一二二cm 犁床(犁先を含む)四九cm 犁先巾二〇cm

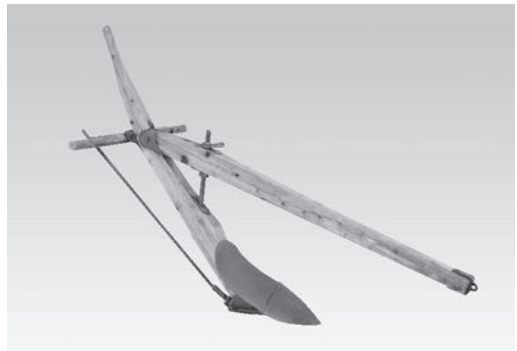
寄贈されたコガラは、い

ず

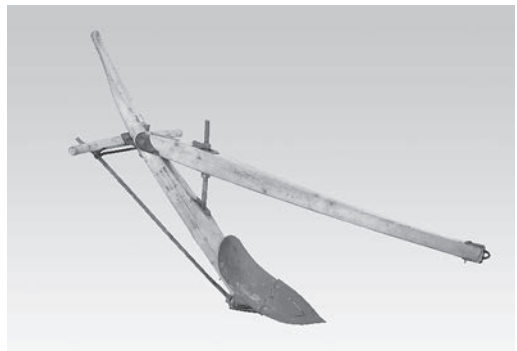
**【畜力 双用一段耕 犁】**

④上田式双用一段耕犁

⑤上田式双用一段耕犁



④上田式双用一段耕犁



⑤上田式双用一段耕犁

に「長野県上田市 上田犁製作所」犁轅の右側面に「上田犁」の焼き印。

⑤上田式双用一段耕犁 犁 双用切替レバーが平板。馬蹄型鋼製の犁先をもつ。犁身の右側面に「長野県上田市 上田犁製作所」「実用新案登録第一八八七二〇番 第二二八九一五番」、犁身の左側面に亀を具象する焼き印と「長野県上田市 上田犁製作所」、犁の右側面には「上田犁」「省力深耕」左側面には「上田犁」の焼き印。

④上田式双用一段耕犁 犁 双用切替レバーが平板。馬蹄型鋼製の犁先をもつ。犁身の右側面に「長野県上田市 上田犁製作所」「実用新案登録第一八八七二〇番 第二二八九一五番」、犁身の左側面に亀を具象する焼き印と「長野県上田市 上田犁製作所」、犁の右側面には「上田犁」「省力深耕」左側面には「上田犁」の焼き印。

④上田式双用一段耕犁 犁 双用切替レバーが平板。馬蹄型鋼製の犁先をもつ。犁身の右側面に「長野県上田市 上田犁製作所」「実用新案登録第一八八七二〇番 第二二八九一五番」、犁身の左側面に亀を具象する焼き印と「長野県上田市 上田犁製作所」、犁の右側面には「上田犁」「省力深耕」左側面には「上田犁」の焼き印。

④上田式双用一段耕犁 犁 双用切替レバーが平板。馬蹄型鋼製の犁先をもつ。犁身の右側面に「長野県上田市 上田犁製作所」「実用新案登録第一八八七二〇番 第二二八九一五番」、犁身の左側面に亀を具象する焼き印と「長野県上田市 上田犁製作所」、犁の右側面には「上田犁」「省力深耕」左側面には「上田犁」の焼き印。

④上田式双用一段耕犁 犁 双用切替レバーが平板。馬蹄型鋼製の犁先をもつ。犁身の右側面に「長野県上田市 上田犁製作所」「実用新案登録第一八八七二〇番 第二二八九一五番」、犁身の左側面に亀を具象する焼き印と「長野県上田市 上田犁製作所」、犁の右側面には「上田犁」「省力深耕」左側面には「上田犁」の焼き印。

④上田式双用一段耕犁 犁 双用切替レバーが平板。馬蹄型鋼製の犁先をもつ。犁身の右側面に「長野県上田市 上田犁製作所」「実用新案登録第一八八七二〇番 第二二八九一五番」、犁身の左側面に亀を具象する焼き印と「長野県上田市 上田犁製作所」、犁の右側面には「上田犁」「省力深耕」左側面には「上田犁」の焼き印。

④上田式双用一段耕犁 犁 双用切替レバーが平板。馬蹄型鋼製の犁先をもつ。犁身の右側面に「長野県上田市 上田犁製作所」「実用新案登録第一八八七二〇番 第二二八九一五番」、犁身の左側面に亀を具象する焼き印と「長野県上田市 上田犁製作所」、犁の右側面には「上田犁」「省力深耕」左側面には「上田犁」の焼き印。

④上田式双用一段耕犁 犁 双用切替レバーが平板。馬蹄型鋼製の犁先をもつ。犁身の右側面に「長野県上田市 上田犁製作所」「実用新案登録第一八八七二〇番 第二二八九一五番」、犁身の左側面に亀を具象する焼き印と「長野県上田市 上田犁製作所」、犁の右側面には「上田犁」「省力深耕」左側面には「上田犁」の焼き印。

高遠町の伊藤脩氏寄贈の木札。

◆上田犁製作所は大正二年に上田犁を創出したことには

じまります。創業者の中村六郎は上田市鍛冶町の鍛冶職人で、松山(株)の創業者である松山原造を鍛冶職として支

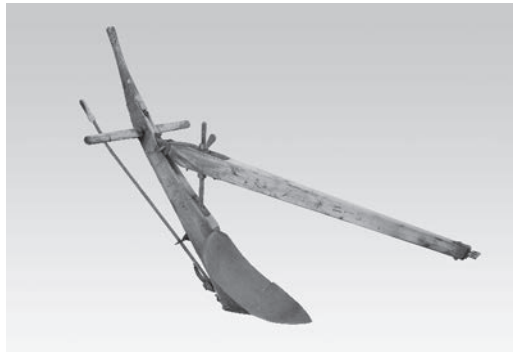
え、堅牢な鋼製の犁先を装した単鏡双用犁(明治三四年

第四九七五号特許取得)をと

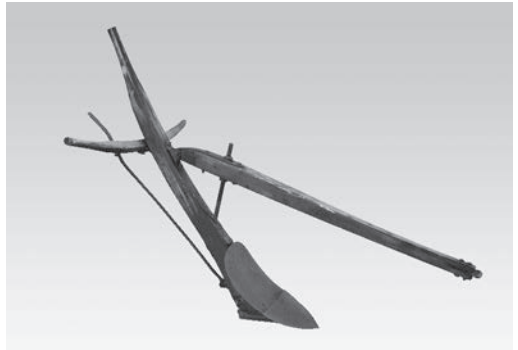
もに作り上げた同志でありま

した。大正三年まで松山犁の

犁金具を専門に製作していま



⑥ダイヤ犁



⑦磯野式両用犁 初風号

所を創業しました。昭和九年に一府八県連合会馬匹共進会で上田犁が三等賞を受賞、昭和十一年には大日本農会で懸賞募集された畑地用犁の選考会において鉄線材のフォークへらを装した上田式両用畑用犁が一・二等賞なしの三等賞に入賞し、その後の畑用犁に採用された自由べら、弾性べらの原型となったとされています。こうして上田犁は、普及の足がかりを作っていきました。

犁轅の右側面と犁身の右側面に「ダイヤ犁 二一型」及びDIAの商標の焼き印。犁把前部のアルミ製ラベルに「二一 四〇五三」の刻印があり、商号番号と思われます。昭和五二年一〇月 堺沢寿雄氏寄贈の木札。

七平製作所「初風号」の焼き印。把手は両端がそり上がり。犁鈞は横に三穴。昭和五二年八月 駒ヶ根市小原重雄氏寄贈の木札。

◆磯野式両用犁を製造した磯野製作所は、永禄二（一五五九）年に創業しています。江戸時代初期の島原の乱では大砲の玉の鑄造に従事し、その功を労い藩から保護を受けました。明治時代は磯野七平鑄造所と称し、抱持立犁の犁先・犁へらを製造しました。両用犁は大正三年から販売して

「△」の刻印と「一八〇」の刻印。金具は深緑色に塗布されている。

⑩日の本式両用二段耕犁  
 犁轅の左側面に「日の本号二段耕犁」、犁身に「上熊本駅前 東洋社」の焼き印。犁鈞は縦に五穴。昭和五二年一〇月 東洋号の木札。

◆日の本式二段耕犁を製造した東洋社は、熊本県上益城郡辰野村に文久三（一八六三）年に甲佐犁とよばれた長床犁を製作したのに始まります。昭和三年、東洋各国への犁の普及をめざして社名を東洋社と改め、犁も「日の本号」と命名。日の本号両用二段耕犁は、昭和五年から生産され、昭和二十七年～二十九年に多数販売されました。安定がよく、土れきの天地返し良好で、重量も軽く使用が容易であったため全国二段耕犁需要の七割を占めました。

**上伊那における畜力犁の導入**

明治二六～二八（一八九三～一八九五）年の「大日本農會報」に下伊那郡郡役所員中

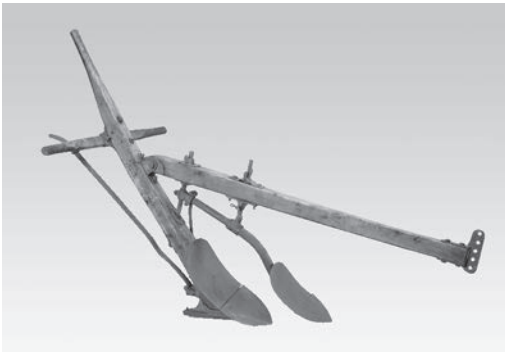
を、愛知県（株）共栄社は脱穀機のダイヤモンド式を製造していましたが、犁においてはダイヤ号を商標とするメーカーを把握することができませんでした。

「専売特許磯野式両用犁 初風号」の墨書、犁身の右側面に「福岡県博多 磯野七平製作所」の刻印。金具は縹色に塗布されていたらしい。把手はそり上がり、水平。犁鈞は縦に五穴。

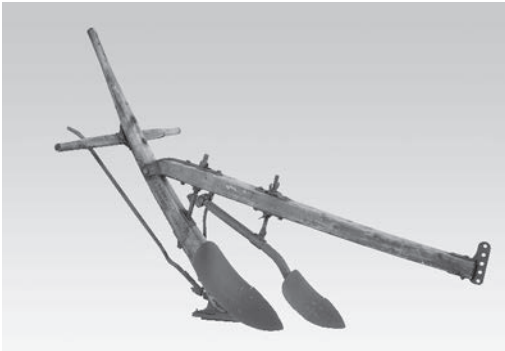
「△」の刻印と「一八〇」の刻印。金具は深緑色に塗布されている。

⑩日の本式両用二段耕犁  
 犁轅の左側面に「日の本号二段耕犁」、犁身に「上熊本駅前 東洋社」の焼き印。犁鈞は縦に五穴。昭和五二年一〇月 東洋号の木札。

◆日の本式二段耕犁を製造した東洋社は、熊本県上益城郡辰野村に文久三（一八六三）年に甲佐犁とよばれた長床犁を製作したのに始まります。昭和三年、東洋各国への犁の普及をめざして社名を東洋社と改め、犁も「日の本号」と命名。日の本号両用二段耕犁は、昭和五年から生産され、昭和二十七年～二十九年に多数販売されました。安定がよく、土れきの天地返し良好で、重量も軽く使用が容易であったため全国二段耕犁需要の七割を占めました。



⑧磯野式双用二段耕犁 二号



⑨磯野式双用二段耕犁 六号

村義太郎が報告した記事によると、明治二六年四月に中村

義太郎が馬耕の実態調査と伝習教師招聘のために岐阜・愛知・静岡・神奈川・群馬・東京の各地を巡回して翌月帰庁。その調査の結果、静岡県で使用する肥後犁が適当であるとして、静岡県で雇傭されていた熊本県玉名郡の北原大八を五月から下伊那郡馬耕教師として招聘しました。試作田で伝習したところ參觀人は賛称して犁を購入し、明治二八年には馬耕を実施する者

が三千名に達したと報告されています。

長野県における畜力利用は、明治初年まで運搬と代掻きのみで、牛馬耕は全く行われていませんでした。明治一〇年代末に農業先進地から農法を学ぶことを政府が奨励するようになり、先進的な農業をしていた北九州の博多に設立された農業教師養成組織「勸農社」から各県は農業技術者を招聘しました。筑前の慣行農法と犁利用を組み合わせたこの農法は、明治農法の中核的

な農法として全国に広まりました。勸農社から派遣された農業教師が教えていた馬耕犁が、無床型の抱持立犁<sup>かかもちたてり</sup>でした。

長野県勸業課は、明治二四年に勸農社社員の前田勝三郎を米作改良試験助手として雇い、翌年から上高井・更級など五郡の篤志農家をつのつて「伝習人」とし、四〇ヶ所余りの試験田で在来農法との比較をしています。

明治二七年一月一六日付の信濃毎日新聞には、上伊那郡へ原田勝三郎が出張した記事があります。翌

これらのことから、伊那地方には肥後犁を教える熊本県の馬耕教師が入り農法が伝習

されていて、抱持立犁を使う勸農社が入り込めなかったことがうかがえます。また、その後、長野県勸業課の指導によるものなのか明治二八年春からは米作改良試験助手による福岡農法が導入されていったことがわかります。

折しも明治二八年五月、上伊那郡伊那村（現 伊那郡）に上伊那郡立上伊那簡易農学校が開校します。これが寄贈資料を所有していた長野県上伊那農業高等学校の前身です。

寄贈された畜力犁をみると、自然木で拵えてある②③は、阿蘇山麓の畑作地帯で使用されたコガラと形態が酷似していることから、下伊那郡で導入した肥後犁というのは、このようなコガラではなかったかと憶測できます。

それから時を経て、松山式双用犁の発明から九年目となる明治四二年に、上伊那郡農会を通じて松山犁が上伊那郡下に斡旋され（「上伊那中

川村歴史民俗資料館所蔵の旧村役場文書」）、普及してきました。

畜力犁生産のピークを迎えていた、昭和二九年の奨励農機具制度による都道府県奨励犁をみると、長野県での奨励犁は、松山・筑摩・高北となっています。松山犁は青森・山形・福島・茨城・神奈川・新潟・富山・石川・長野・岐阜・静岡・兵庫・岡山・広島で、上田犁は青森・福島県で推奨されています。

長野県上伊那農業高校が所蔵していた畜力犁のうち、上田式双用犁の一点と磯野式双用二段耕犁二点が昭和五二〜五三年収集を示す木札のないことから、長野県上伊那農業高校では双用犁では上田式双用犁が、双用二段耕犁では福岡県の磯野式双用二段耕犁が実習教材として使われていたことを推し量ることができま

# 二段耕犁

二段耕犁は、従来の犁に前犁（副犁）を取付たもので、土を一段で耕起していたのが二段に耕起するようにしたものです。二段耕犁は、前犁で表土を耕し本犁で心土を耕起するので完全に天地返し耕と深耕ができました。また、水田においては秋落ちをなくし全層に肥料が施用されることから、アンモニア窒素の損失をなくし、碎土効果があり労力の節約とともに除草効果も得られました。

二段耕犁には、前犁の犁体への取付部位の違いから「練り木型」（松山式・深見式）、「犁身型」（磯野式）、「折衷型」（日の本式）、「特殊型」（高北式）の四種に型式区分した呼び名がありました。松山（株）は、練り木型の二段耕犁を開発し昭和二四年から製造販売しました。

（財）松山記念館に収蔵す

松山（株）の営業史料の中に「一九五四年春 犁耕実演講習会説明要領」というマニュアルが綴じられています。この年から松山式単用・双用二段耕犁が発売となり、販売促進にあつたつての営業マニュアルと思われます。それには、二段耕犁の使用効果とともに調節の要領なども書かれています。ここでは松山式二段耕犁の特長と操作について拾い出してみます。

## 〔特長〕

前犁の取り付けを練り木型にしてあるので、取り外し・取り付けが極めて簡単にできる。新たに二段耕犁として購入しなくても松山式犁であれば、明治時代の犁でも前犁のみ購入すれば二段耕犁として使用できる。犁先をレバーで回転させたときの偏心は、前犁については回転軸の切溝と回転金の切溝を合わせれば左

右同一になるように設計している。

松山式犁は軽くて丈夫ということを基本態度に設計している。金属部分については、一般に使っている普通鑄物をほとんど使用せず、主として鋼材を有効適切に使用している。

## 〔使い方〕

前犁はあまり多くかけず、全体の深さの三分の一位にして、耕巾は一段耕犁より狭くかけて犁の使用角度を小さく垂直に近くして使用する。

使用中に犁を左右に振る作用はできるだけしない。前犁が土中に入っている物を無理矢理に動かすようなもので、前犁を壊すこととなる。回転する時には必ずレバーを握つてからハンドルを回転させるようにする。前犁の上下の調節の時には必ずハンドルを中心に持ってきつてから調節する。

## 〔二段耕犁の歴史〕

二段耕犁は、明治四五年ごろ香川県で考案され、大正一四（一九二五）年に福岡県

嘉穂郡穂波村の犁制作者、花田真次が初めて「二段犁」と名付けて特許を得たことから使用が始まりました。昭和三（一九二八）年には福井県の定池亀次郎（定池農機製作所創業者）も単用二段耕犁の製作をはじめています。

一方、双用二段耕犁の製作に最初にとりかかったのは、福岡県上土居町の深見平次郎で昭和六年に特許を取得し、二

段耕犁が普及する基礎をつくりました。この年に福岡県上土居町の磯野七平も瑞風二段耕犁を製作しました。しかし、戦前はまだ普及しませんでした。

熊本県の東洋社は昭和一六年から単用二段耕犁の製造をはじめ、昭和二三年には全国農業機械博覧会で二段

耕犁として最初の金牌を受賞しました。次第に二段耕犁が、

従来の一段耕犁に比べ牽引抵抗や自重が大きいものの、碎土性能や反転性能などが優れていることが知れ渡り、全国に普及して水田の表裏両用に利用が増加していきました。

こうして昭和二三年頃から二段耕犁のブームが現れ、各社は二段耕犁の開発を競いまし

50年の「家」に越く責任製造

先ず耕せ 眞価は土が保証!

増産には軽くて丈夫で使い易く能率の良い

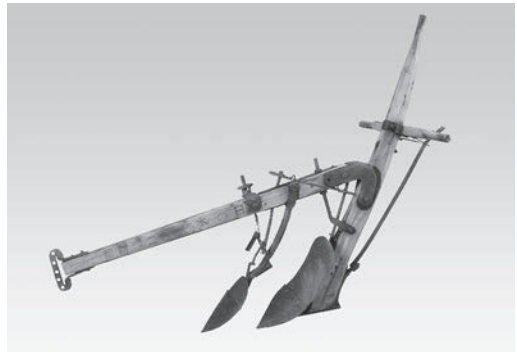
元祖 松山スキを

- 双用犁 甲大・甲小・藤研・畑専用
- 単用犁 11号・25号
- 二段耕犁 (単用・双用)
- 半馬耕犁
- 各型八万字先
- 畜力中耕除草機

株式会社 松山犁製作所

長野県小県郡塩川村(塩越塚大庭原前滝沢)

松山犁製作所の広告



⑩日の本式二重二段耕犁

いつぼう、埼玉県の井田恒次は数個の前犁を犂轅に取り付けた多段犁を考案するなど次第に二段耕犁は複雑な構造が競われていきました。

### 【二段耕犁の国営検査】

昭和二四年度から昭和三〇年度にかけて行われた農林省による「農機具国営依頼検査合格機」を認定する検査のうち、犁については二段耕犁の検査が昭和二五年と二六年におこなわれています。

た。松山(株)は前述のとおり、昭和二四年から二段耕犁の製造販売をはじめています。

昭和二八年「機械化促進法」

によってハンドトラクタの導入が進むまで、東洋社は二段耕犁需要の七割を占め、普及を牽引しました。

全盛期には高北式や日の本式では鉄製の犁を製造販売するようにになり、犁体を鉄製にするために必要な種々の考案がなされ、次々と特許・実用新案の出願がされました。

製作所)はこの時、単用二段耕犁の一一号・二五号が合格証票四五一号を、双用二段耕犁の甲小型・大型が合格証票四六二号を受けています。松山式双用二段耕犁バケン型は、昭和二四年から発売をはじめ、傾斜軸を採用した練り木型のため、前犁の着脱が自在で、一段耕犁としても使用できる互換性がありました。前犁の深淺調節を行っても地面に対しての作用角は変化することなく、つねに適切な作用角を保持することができました。

昭和二五年及び二六年の検査で農機具国営依頼検査合格機に認定された二段耕犁をみると、高北式(三重

県の高北農機製作所)では単用の光栄号・土の母号と双用の土の母号、磯野式(福岡県の磯野七平製作所)では単用の端風(二

段耕と双用の初風

製所)は、この時、単用二段耕犁の一一号・二五号が合格証票四五一号を、双用二段耕犁の甲小型・大型が合格証票四六二号を受けています。松山式双用二段耕犁バケン型は、昭和二四年から発売をはじめ、傾斜軸を採用した練り木型のため、前犁の着脱が自在で、一段耕犁としても使用できる互換性がありました。前犁の深淺調節を行っても地面に対しての作用角は変化することなく、つねに適切な作用角を保持することができました。

### 【二段耕犁の合格機】

松山株式会社(当時は松山

製所)は、この時、単用二段耕犁の一一号・二五号が合格証票四五一号を、双用二段耕犁の甲小型・大型が合格証票四六二号を受けています。松山式双用二段耕犁バケン型は、昭和二四年から発売をはじめ、傾斜軸を採用した練り木型のため、前犁の着脱が自在で、一段耕犁としても使用できる互換性がありました。前犁の深淺調節を行っても地面に対しての作用角は変化することなく、つねに適切な作用角を保持することができました。



二段耕犁の作業風景

二段耕二号、日の本号(熊本県の東洋社)では単用の四号・六号と双用の二段耕犁などもあります。

### 【二段耕犁の生産ピーク】

犁の年次別生産台数は、昭和二五年一〇万台、二六年一四万台、二七年一八万台、二八年二二万台、二九年二〇万台、昭和三〇年一七万台、と昭和二八年の二一万台が最高でその後は漸減していきました。牛馬耕が昭和三〇年ころから動力耕耘機に押さ

れるようになり、昭和四〇年ころには次第に姿を消していきました。

(学芸員 田中壽子)

『日本農機商大鑑』昭和九年 農機新報社

『躍進 長野県誌』昭和一四年

長野県誌編纂所

『日本農業発達史 第一巻』昭和二八年 中央公論社

『昭和三〇年版 農機具年鑑』昭和二九年 新農林社

『昭和三二年版 農機具年鑑』昭和三二年 新農林社

『二段耕犁』新関三郎 昭和三一年 『雑誌 農業日本』

『二段耕犁のはなし』手塚右門 昭和三二年 『雑誌 農業電化』

『農機工業の変遷』昭和四〇年 新農林社

『長野県政史 第一巻』昭和四六年 長野県

『日本の鎌・鋏・犁』昭和五四年 大日本農会

『長野県史 近代史料編 第五卷 (二)』平成三年 長野県

『図説 畜力農機具発達史』平成七年 下田博之著

『館報 まつやま一五号』平成一八年 松山記念館

第十七回文化講演会の開催

平成二十年十月十八日松山記念館主催、上田市・上田市教育委員会後援で、松山株式会社三階ホールにて、第十七回文化講演会が開催されました。

講師は、九州大学名誉教授・農学博士 坂井 純氏をお願いし、「日本のスキ(犁)とロータリ耕耘(うん) 作業機の発達と、国家の近代化」をテーマとして講演された。(聴講者一四七人)

講演会に先立ち主催者を代表して理事長が挨拶に立ち、今講演会のご後援を頂いた上田市、上田市教育委員会を代表してご出席頂いた三好健三九子地域自治センター長様と、ご多忙のなか本日の講演をお引き受け頂いた坂井純様にお礼を述べ、「先生は近代



坂井純先生

究の第一人者であった森 周六先生から学ばれた『犁の原理を語らせたら右に出るものがおらない』と言われる方ですので演題に添って奥深い話がたくさん出てくると思いますから、ご静聴おねがいします」と開会の挨拶をしました。続いて後援者を代表して三好健三九子地域自治センター長より松山株式会社の国蝶オオムラサキの保護にはじまる環境・自然保護の取組みに敬意を、そして地域の子育て支援、少子化対策への積極的取組みにも感謝を表された上、郷土の貴重な資料館として松山記念館がより発展され、この講演会が今後も末長く続く事を祈念しますと挨拶を頂いた後、講演に入った。

・農業工学を森周六先生に学ぶ  
・欧米人は、アジアの農業を教えられない  
・農業人口からみえる機械化の伸展  
・小作制度の解体と農業の機械化  
・歩行用トラクタから乗用トラクタの時代へ  
・水田稲作農業と畑作農業の食文化の違い  
・農業就業人口の割合にみる農業の発展  
・ドル外貨備蓄保有額にみる日本経済  
・営業のセンスを学ぶことも必要  
等のテーマを自らの体験を交えた実情を熱弁でお話いただき、最後に  
・「仕事の二〇〇％達成」は普通。八〇％達成で満足するのは学生気分。実社会では、一〇〇％以上どれだけ出来たかが、「仕事の成果の極意」・各国工業規格のJIS(日本)、ASAE(米)、DIN(独)などは、製品の「品質性能合格最低基準である。工業規格よりもどれだけ良い製品を開発生産できるかが「開発設計とテスト改良と製造関係技術の第一歩」。これが日本の技術者魂なのです  
・「人間の集中力は二〜三時間が限界」は常識。「最重要な一つの業務を全力遂行続行する」のは、却って能率が上がらない。ですから「重要な優先業務テーマを二つ選んで二〜三時間ごとにテーマを切り替えて仕事をするのが、最高の能力で仕事を続行する極意。」と日本企業技術者魂についての坂井語録を述べられ講演を締めくくった。

理事会・評議員会開催

★平成二十年十二月十日(木)協同サービス(株)二階ホールに於いて、第二十回理事会、第二十一回評議員会が開催され、基本財産の運用と、平成二十一年度事業計画書(案)・同予算書(案)及び新公益法人制度に対する対応について審議され、出席者全員の承認を得て終了された。

★平成二十一年二月十三日(金)協同サービス(株)二階ホールに於いて、第二十一回理事会、第二十二回評議員会が開催され、平成二十一年度事業報告書及び収支計算書と収支計算書の注記並びに財務諸表(貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、財務諸表の注記)の承認の件について審議され出席者全員の承認を得た。引続き役員任期満了に伴う改選を行った。理事七人、監事二人及び評議員九人全員が再選重任と決定された。

平成二十一年度役員  
◎理事長(館長) 松山 信久  
理事 西尾 和実  
同 滝沢 太三雄  
同 村岡 進  
同 中山 忠義  
同 塩川 勝也  
同 勝野 和人  
同 綿谷 光男  
同 羽田 俊祐  
同 三吉 治敬

◎監事 同  
◎評議員 同  
同 三吉 治敬

新入社員研修見学  
同 高野 知久  
同 宮下 孝夫  
同 関 賢治  
同 福井 努  
同 渡辺 毅  
同 松山志津江  
同 吉原 孝則  
同 清水 英一



松山株式会社平成二十一年度新入社員は、四月一日(水)の入社式終了後、当館を訪れた。

平成二十一年度当館見学者

総数 一、六三五人  
内訳  
県外(含凡国) 四九、八％  
東信 三四、一％  
北信 四、五％  
中信 三、四％  
南信 八、二％

第十八回文化講演会決定

日時・平成二十二年九月二五日(金)午後三時十分〜五時  
場所・松山(株)三階ホール  
講師・川辺農研産業株式会社  
取締役会長 川辺久男氏